



# 鎌倉市議会だより

# 議会だより

## 鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000

内線 2446

FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ

鎌倉市議会

検索

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

## 令和3年(2021年)9月定例会(9月8日~10月1日) 令和2年度一般会計決算等を認定

### ●定例会の概要

- ・9月定例会では、20名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、専決処分承認議案1件を承認、条例関係議案3件、補正予算議案1件、その他議案5件を可決、令和2年度一般会計決算ほか5特別会計決算を認定、下水道事業会計に係る剰余金の処分及び決算を可決および認定しました。
- ・議員提出議案として、「鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について」「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について」「世界保健機関(WHO)西太平洋地域委員会への台湾の参加を求めることに関する意見書の提出について」「沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋立てに使用しないよう求めることに関する意見書の提出について」を可決しました。
- ・陳情2件を採択、4件を不採択としました。

### ●定例会の主な動き

本会議(9/8~10、13)	一般質問、議案上程、採決	(2・4面)
各常任委員会(9/14~17、30)	議案、陳情審査等	(3面)
決算特別委員会(9/21、22、24、27、28)	議案審査	(3面)
本会議(10/1)	委員長報告、議案上程、採決	(3・4面)

## 鎌倉市議会

# 議会報告会

9月定例会の内容を、  
議員自身が市民の皆様へ報告  
というカタチでお話します。

# 意見聴取会

テーマは「**鎌倉市の防災**」です。  
議員が市民の皆様から  
ご意見をお聞きします。

オンラインで  
開催します

令和3年(2021年)

11月6日(土)  
14:00~16:00

11月7日(日)  
10:00~12:00

Microsoft Teamsによるオンラインでの  
開催となりますので、参加を希望される方は事前申込と  
Microsoft Teamsのアプリのインストールが必要となります。

### 議会報告会&意見聴取会について

開かれた議会を目指し、議会情報を積極的に発信するとともに、皆様から直接ご意見をいただくため、平成27年度より、議会報告会&意見聴取会を開催しています(令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)。令和3年度は2年ぶりの開催となります。

### 意見聴取会の意見について

意見聴取会でいただいたご意見は、取りまとめて報告書とし、議長から市長へ報告しています。  
令和元年度においては、意見聴取会でいただいたご意見の内容を踏まえ、所管常任委員会で協議し、「観光の視点から考えるユニバーサルなまち鎌倉」について、市長へ政策提言を行いました。これにより、「鎌倉観光 点字・大活字ガイド」が発行されました。



### 鎌倉観光 点字・大活字ガイド

これは、視覚障害をお持ちの方が、鎌倉観光を特に楽しんでいただけるスポットを紹介する冊子です。点字や大活字を併用することで全盲の方と弱視の方が兼用でき、SPコードまたはQRコードを読み取ると各エリアの特徴と観光スポットの情報を音声でお聞きいただけます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載施設の参拝時間や開館日が異なる場合がございます。

掲載施設は、盲導犬の同伴が原則可能です。また、障害者割引が適用される場合がございます。詳細は各施設にお問い合わせください。

鎌倉市

### 申込方法など

氏名と参加希望日をご記入いただき、下記メールアドレスまでお申し込みください。また、手話通訳が必要な方は、その旨をご記入ください。

【メールアドレス】 gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

(申込締切日以降、いただいたメールアドレスに参加URLを返信します)

【申込締切日】 **令和3年(2021年)11月2日(火)**

【定員】 各日20名(定員になり次第、受付を終了します)

お申し込みはこちらから行えます▼



### 注意事項

- 当日はパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかを準備しご参加ください。
- 事前に、当日ご使用になるパソコン等にMicrosoft Teamsアプリケーションのインストールが必要です。
- 参加者の皆様において利用環境、インターネット環境のご用意をお願いします。
- Microsoft Teamsの操作方法等については、当日も含めサポートできませんので、ご了承ください。

【今後の定例会開会予定日】12月定例会：12月1日(水) 2月定例会：令和4年(2022年)2月9日(水)

※開会予定日は、変更となる場合があります。

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。9月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、質問時間を短縮し実施しています。ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、11月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 子ども関連、土砂災害

子ども関連について、次の質問が行われました。

### 【10歳代の投票率】

質問：平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられた。10歳代の投票率は、その直後の選挙においては60%を超えたが、それを維持できていない。10歳代の投票率が下がってきている状況をどのように受け止めているか。

選挙管理委員会事務局長：全国的に見ても10歳代の投票率は下がっており、本市においても平成28年に執行した参議院議員通常選挙の10歳代の投票率は61・79%であったが、令和元年の選挙では44・27%に減少した。その一方、令和3年4月に執行した鎌倉市議会議員選挙においては、平成29年の同選挙に比べ、10歳代の投票率が8%ほど高くなり、43・41%であった。投票率はさまざまな要因に左右されるが、投票年齢の引き下げに対する一時的な話題性は失われつつあると捉えており、引き続き投票率



投票箱

投票箱

向上のための取り組みに努めていきたい。

質問：若者の投票率の向上について、これまでどのような取り組みを行ったのか。

同局長：投票年齢引き下げの法改正に合わせて、平成26年度から市内中学校を対象とした出前授業、模擬選挙を実施しており、これまで2524人の中学生に参加いただいている。令和2年度、3年度については、コロナ禍を踏まえ自粛しているが、安心して授業ができる状況を持って再開したいと考えている。

質問：鎌倉市では民間保育園や認定こども園などに障害のある園児が入園した場

合、児童の処遇向上のために補助金を交付している。補助金の補助単価の見直しを積極的に行いたい。どうか、いかがか。

市長：現在、補助金の補助単価の引き上げについて検討している。障害のある児童がその通園する保育園によって、処遇に差が出ないようにしっかりと検討を進めていきたいと考えている。

質問：土砂災害について、次の質問が行われました。

質問：静岡県熱海市での土砂災害を受け、神奈川県は、神奈川県土砂の適正処理に関する条例（以下、県条例）に基づいて許可を与えた県内の盛土箇所について、令

和3年7月に緊急点検を実施したが、鎌倉市内に対象箇所はあったか。

都市景観部長：鎌倉市内には県条例に基づく許可を要する2000平方メートル以上の埋め立て、盛土その他の土地への土砂堆積を行った箇所は、存在しないことを確認している。

質問：許可が不要な規模の残土などが外部から持ち込まれることについて、鎌倉市では何らかの規制やチェックはあるのか。

同部長：県条例では、建設工事またはストックヤードの区域から500立方メートル以上の土砂を搬出する場合は、土砂埋め立て行為を行う者があらかじめ土砂の搬出に係る氏名および住所、建設工事の内容、位置および区域、土砂の数量、搬出期間、搬出先に関わる事項についての計画を作成し、県に届け出を行う必要がある。

質問：市域のかなり広い部分がレッドゾーンに指定された。防災対策において、市民にとってはこれまでと何が変わるのか。

同部長：居室を有する建築物の新築、建て替えについては、土砂災害を防止、軽減するための基準を満たすものになっているかどうかについて、建築主事（※）等の確認が必要となる。また、土地や建物の売買等を行う際には、レッドゾーンに指定されている旨を重要事項として説明することが義務付けられている。そのほか特定の開発行為、住宅宅地分譲や、社会福祉施設、学校、医療施設の建築の際には県知事の許可が必要となり、土砂災害対策工事が求められることになる。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

同部長：レッドゾーンとは、イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に建物に作用する力の大きさが、通常の建物が耐えうる力を上回り、住民の生命、身体に著しい危害が生じると認められる区域が指定されたものである。指定に当たっては神奈川県が調査、測量を行い、土砂災害による衝撃力などを算出し、区域を決定した。

質問：市域のかなり広い部分がレッドゾーンに指定された。防災対策において、市民にとってはこれまでと何が変わるのか。

同部長：居室を有する建築物の新築、建て替えについては、土砂災害を防止、軽減するための基準を満たすものになっているかどうかについて、建築主事（※）等の確認が必要となる。また、土地や建物の売買等を行う際には、レッドゾーンに指定されている旨を重要事項として説明することが義務付けられている。そのほか特定の開発行為、住宅宅地分譲や、社会福祉施設、学校、医療施設の建築の際には県知事の許可が必要となり、土砂災害対策工事が求められることになる。

質問：令和3年5月25日に神奈川県が土砂災害防止法に基づき、鎌倉市内の急傾斜地の崩壊についての土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を公表した。市内でレッドゾーンに指定されたのは、何力所か。

同部長：5月25日に神奈川県により指定された鎌倉市内の急傾斜地の崩壊についてのレッドゾーンは404カ所であった。なお、既に平成29年3月24日に指定されていた土石流についてのレッドゾーンは20カ所であり、合計は424カ所である。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

同部長：レッドゾーンとは、イエローゾーンのうち、土砂災害が発生した場合に建物に作用する力の大きさが、通常の建物が耐えうる力を上回り、住民の生命、身体に著しい危害が生じると認められる区域が指定されたものである。指定に当たっては神奈川県が調査、測量を行い、土砂災害による衝撃力などを算出し、区域を決定した。

質問：市域のかなり広い部分がレッドゾーンに指定された。防災対策において、市民にとってはこれまでと何が変わるのか。

同部長：居室を有する建築物の新築、建て替えについては、土砂災害を防止、軽減するための基準を満たすものになっているかどうかについて、建築主事（※）等の確認が必要となる。また、土地や建物の売買等を行う際には、レッドゾーンに指定されている旨を重要事項として説明することが義務付けられている。そのほか特定の開発行為、住宅宅地分譲や、社会福祉施設、学校、医療施設の建築の際には県知事の許可が必要となり、土砂災害対策工事が求められることになる。

質問：土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とレッド

ゾーンの違いについて伺いたい。

### 【用語の解説】

#### ※建築主事

建物を建てる際の手続きである建築確認や中間・完了検査などを行う地方公共団体（都道府県・市町村など）の職員のこと。

## 一般質問項目一覧

一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます▶



- ① 後藤 吾郎（ヴィジョン）
  - 1 コロナ禍における鎌倉市の医療・介護・障がい福祉について～現状とこれから～
- ② 中里 成光（ゆめみらい）
  - 1 防災とは
  - 2 自然災害激甚化・頻発化について
  - 3 市民の災害に対する備え、意識について
  - 4 地域内の連携について
  - 5 災害ボランティアセンター設置運営に関して
  - 6 他地域との防災都市連携
  - 7 持続可能なまちづくりについて気候変動への対策
- ③ 日向 慎吾（ゆめみらい）
  - 1 地域とのつながりや地域活動の活性化について
  - 2 良好な河川空間の確保について
  - 3 腰越駅から江ノ島駅間の安全対策について
- ④ 長嶋 竜弘（かわせみ）
  - 1 村岡新駅・本庁舎移転は妄想か？その実現性に迫る
- ⑤ 千 一（無所属）
  - 1 合理化と障がい者にとっての使

- いにくさとプライバシーについて
- 2 スケートボードによる路上での危険走行について
- 3 身体障がい者中心のグループホームについて
- 4 コロナワクチンについて
- ⑥ 大石 和久（公明党）
  - 1 松尾市長の政治姿勢について
- ⑦ 岡田 和則（鎌倉アプデ）
  - 1 鎌倉市における新型コロナウイルス感染症の統計について
  - 2 市民への食糧支援の状況と今後の取り組みについて
  - 3 避難所及び災害ボランティアセンターの実態について
  - 4 財政健全化への取り組みについて
  - 5 大船のまちづくりについて
- ⑧ くりはらえりこ（かわせみ）
  - 1 海辺の環境保全と道路通行の安全確保について（SDGs目標13・14・17）
  - 2 民泊を犯罪の温床や近隣の迷惑施設にしない対策について（SDGs目標8・11・12）
  - 3 市立病院が無い鎌倉の医療体制と搬送困難事例に対応する危機管理対策について（SDGs目標3・11・17）
  - 4 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域のモニタリングについて（SDGs目標9・11・12・13）
  - 5 4年前の市長の政策マニフェス

- トについて（SDGs目標1～17）
- ⑨ 前川 綾子（ゆめみらい）
  - 1 地域・社会の担い手となる青少年の育成について
  - 2 防災について
- ⑩ 納所 輝次（公明党）
  - 1 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）について
- ⑪ 保坂 令子（ネット）
  - 1 養育費の確保支援について
  - 2 まちづくり条例等の総合的な見直しについて
  - 3 鎌倉市全体のまちづくりにおける「本庁舎跡地」の整備について
- ⑫ 吉岡 和江（日本共産党）
  - 1 村岡新駅と深沢まちづくり計画について
- ⑬ 竹田 ゆかり（かわせみ）
  - 1 育ちを保障する「障害児保育」について
  - 2 特別教室空調設備設置、早期実現を
  - 3 婚外子差別解消―戸籍の更正申請について
  - 4 小中学校のプール清掃について
  - 5 ヤングケアラーの実態調査を
- ⑭ 井上 三華子（ネット）
  - 1 市内の盛土造成について
  - 2 土砂災害のレッドゾーン指定について
  - 3 市民協働による里山の保全について

- 4 コロナ禍での子ども達のケアについて
- ⑮ 児玉 文彦（公明党）
  - 1 鎌倉市の財政に関して～個人市民税確保の取り組みについて～
- ⑯ 高野 洋一（日本共産党）
  - 1 図書館の運営に関する課題について
  - 2 ICT教育が子どもたちに及ぼす影響と課題について
- ⑰ くり林こうこう（無所属）
  - 1 小児医療費助成制度における小中学生所得制限撤廃に向けて
  - 2 運転免許を自主返納した高齢者への助成について
  - 3 新しい生活様式への移行支援
  - 4 観光について
  - 5 市職員管理職の女性割合向上について
- ⑱ 武野 裕子（日本共産党）
  - 1 生活保護行政について
  - 2 民間学童保育の安定的運営のために
  - 3 岡本2丁目用地の筆界特定とその後
- ⑲ 藤本 あさこ（鎌倉アプデ）
  - 1 不登校対策に繋がるこどもの居場所について
  - 2 パートナーシップ条例について
  - 3 市長選挙の選挙事務について
- ⑳ 出田 正道（ヴィジョン）
  - 1 北鎌倉隧道について
  - 2 第20回かまくら子ども議会での質問に対する回答の再確認

# 令和2年度決算を審査

## 一般会計決算等を認定

### 決算関係議案の提案

9月13日に開催された本会議において、一般会計決算等7議案が提案されました。

### 決算特別委員会の設置

議会は、9月13日の本会議において、各会派から選出された委員9名(委員名簿参照)からなる令和2年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(以下「決算特別委員会」という)を設置し、これらの審査を付託しました。

### 決算特別委員会における審査

決算特別委員会では、9月13日、21日、22日、24日、27日、28日、10月1日の7日間にわたり、正・副委員長を選任、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、第三次鎌倉市総合計画第四期基本計画実施計画の諸施策の進捗状況などを中心に、予算の適正な執行と、その行政効果について担当部課への質疑等を行うとともに、重要課題については市長に出席を求め、その見解をたどりました。

### 審査後、採決を行い、一般会計決算、国民健康保険事業特別会計および後期高齢者医療特別会計

療事業特別会計決算は多数の賛成により認定。大船駅東口市街地再開発事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計および介護保険事業特別会計決算は総員の賛成により認定。下水道事業会計剰余金の処分及び決算は総員の賛成により可決および認定しました。

### 本会議における委員長からの審査結果報告、討論・採決

10月1日の本会議において、委員長から審査経過および結果が報告され、その中で一般会計決算議案に対しては、決算特別委員会で全会一致となった次の3つの意見が付けられました。

### ○防災に関する取り組みについて

避難行動要支援者への支援策として、具体的な避難方法についての個別避難計画を作成するとともに、崖崩れや浸水、津波など災害リスクが高い地域においては、地域の避難計画の作成が併せて進められることを求める。また、避難路整備が進んでいない現状において、命を守るための防

### ○文化財的資産の保全・活用について

指定文化財に加えて、歴史や文化を伝承する遺構や建造物など、市内に点在する文化的資産に関し、保全・活用する体制の構築に向けた調整や、計画的な耐震化により、一層の市民利用および分散型観光の資産としての活用を求め、併せて、古都鎌倉にふさわしい文化財行政を進める上での政策や事業を打ち出す際には、行政としての説明責任を果たし、市民、議会の理解を十分に得た上で取り組むことを求める。

### ○子どもに関する取り組みについて

コロナ禍における、子どもたちの学習環境や家庭環境の変化に対し、児童・生徒一人一人の悩みに寄り添ったきめ細やかな相談・対応や、経済

### ○子どもに関する取り組みについて

的支援を求める。また、放課後の居場所について、「放課後かまくらっ子」においては、指定管理者による運営状況の把握を行うとともに、地域においても多様な放課後の居場所づくりを求める。そのほか、通学路の危険箇所について、早急な安全対策の実施を求める。

### 一般会計決算等審査特別委員会委員(議席順)

委員長	池田 実 (夢みらい鎌倉)
副委員長	岡田 和則 (鎌倉アップデートチャレンジ)
委員	後藤 吾郎 (鎌倉のビジョンを考える会)
	中里 成光 (夢みらい鎌倉)
	くりはらえりこ (鎌倉かわせみクラブ)
	保坂 令子 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	志田 一宏 (自由民主党鎌倉市議会議員団)
	大石 和久 (公明党鎌倉市議会議員団)
	高野 洋一 (日本共産党鎌倉市議会議員団)



一般会計決算等審査特別委員会委員

9月定例会では12件の陳情が提出されました。そのうち、2件を全議員に配付し、10件を各常任委員会に付託し審査を行いました。その後、本会議において2件を採択し、4件を不採択としました。また、3件を継続審査とし、1件を議決不要としました。結論が出た陳情の要旨および結果は次のとおりです。

- 【採択した陳情】**
- ◇**重度障害者医療費助成制度継続についての陳情**  
陳情の要旨 令和4年度予算編成に際し、重度障害者医療費助成制度について、透析患者ならびに全ての重度障害者が負担なく医療を受けられるよう、制度の継続ならびに条件に対する再検討を求めるものです。  
委員会および本会議の結果 委員会は多数の賛成により、本会議は総員の賛成により採択しました。
  - ◇**司書資格をもつ正職員の新規採用に関する陳情**  
陳情の要旨 司書資格を有し、図書館の仕事に意欲を持つ技術職員の新規採用を行い、持続可能な図書館運営体制の構築を図ることを求めるものです。  
委員会および本会議の結果 委員会は可否同数のため、委員長裁決により不採択、本会議は多数の賛成により採択しました。
- 【不採択とした陳情】**
- ◇**防災無線システム廃止の検討についての陳情**
  - ◇**鎌倉市長の職務怠慢に関する調査及び問責決議についての陳情**
  - ◇**旧国鉄大船工場跡地を含む深沢の鎌倉市所有遊休地の活用方法についての陳情**
  - ◇**鎌倉市の深沢地域再開発計画(スポーツ施設計画エリア)に西鎌倉テニスクラブを存続させ同計画策定に参画させていただきたいとする案件についての陳情**

### 9月15日開催 審査した内容(議案2件、陳情3件、報告事項9件)

**報告事項 防災対策の取組状況について**  
災害時広報事業、災害対策本部機能強化事業、避難対策推進事業、防災活動事業、その他の各事業において、令和3年度(2021年度)は、防災行政用無線デジタル化の推進、高潮ハザードマップのホームページでの公開、土砂災害ハザードマップの更新およびホームページでの公開、避難所へのスポットクーラー・パーティションの配備のほか、さまざまな取り組みを行っているとの報告がありました。また、コロナ禍における災害対応など、これまでの対応を見直す必要があることから、国・県の動向を注視し、関係機関と連携しながら対策を進めていくとのことでした。  
委員会では、複合災害、避難方法や避難誘導、受援体制、情報提供の在り方などに関する質疑が行われた後、報告事項について了承されました。

**報告事項 大河ドラマの取組状況について**  
大河ドラマ館の設置に関して、予定施設である鎌倉文華館鶴岡ミュージアムの賃貸借について、所有者である鶴岡八幡宮と契約に向けた最終的な交渉・調整を行っており、また、同館の運営について、公募型プロポーザルにより事業者を選定し、契約締結に向けた協議を行っているほか、観光客分散化も踏まえ、大河ドラマに関連するゆかりの地の選定や、周遊ルートの選定に取り組んでいるとのことでした。  
委員会では、SDGsの観点を取り入れた取り組み、経費削減や収益性、雇用促進や市内業者との連携、経済効果などに関する質疑が行われた後、報告事項について了承されました。

### 9月17日開催 審査した内容(議案3件、報告事項5件)

**議案第21号 工事請負契約の締結について**  
昭和11年(1936年)完工の旧図書館を子どもの家等として活用するため、「(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事」についての請負契約を一般競争入札により落札した松浦建設株式会社と2億9084万円で締結しようとするものです。当該建物は、平成30年(2018年)3月に工事着手したものの、土台や柱などの木材に想定以上の腐朽を確認したことから、その後、木材の交換・補修方法の検討、間取り変更等の修正設計を行い、改めて工事を発注しようとするもので、完工は令和5年(2023年)2月の予定とのことです。  
委員会では、建物の耐震性能やバリアフリーへの配慮、契約予定事業者の工事実績等について質疑が行われた後、「多くの経費をつぎ込むことから、歴史的価値のある建物の再生・利活用のモデルとなるような取り組みを求める」「国登録有形文化財に登録される方向で事業を進めることを求める」との意見が出され、本議案については、総員の賛成により可決されました。

**市民環境常任委員会** **常任委員会** **総務常任委員会**  
**建設常任委員会** **審査の一部を紹介します** **教育福祉常任委員会**

### 9月16日開催 審査した内容(議案2件、陳情2件、報告事項10件)

**議案第24号 横断歩道橋維持修繕工事【小袋谷歩道橋】に関する協定の締結について**  
JR横須賀線をまたぎ、小袋谷二丁目3番先と台三丁目4番先を結ぶ市道209-095号線である小袋谷歩道橋について、横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を施行するため、東日本旅客鉄道株式会社と協定を締結しようとするもので、協定金額を4億2172万円、協定の期間を協定締結の日から令和6年(2024年)3月31日までとするものです。  
当該修繕工事は、東日本旅客鉄道株式会社が所有する鉄道敷内および近接箇所で作業を行う必要があり、また、鉄道用電力の一時停止、駐車中の列車の移動および鉄道敷用の建設機械の使用など、専門的な作業を伴うため、同社に施行を委任するものであるとのことでした。  
委員会では、業者の選定方法や金額の妥当性のほか、近隣に県道の小袋谷踏線橋が開通した中で、当該歩道橋の今後の必要性等について検討がなされたのかなどの質疑が行われた後、採決の結果、総員の賛成により可決されました。



小袋谷歩道橋

### 9月14日、30日開催 審査した内容(議案1件、陳情5件、報告事項7件)

**報告事項 小学校給食の公会計化に関する取組状況について**  
市立小学校の給食費の徴収・管理を各学校長が行っていることについて、文部科学省から地方公共団体による徴収を基本とする取り組みを推進するよう通知があり、本市においても、教職員の負担を軽減し、かつ保護者の利便性向上および給食費の徴収・管理の効率化を図るため、令和4年度(2022年度)から学校給食費を市の歳入歳出予算に編入する「公会計化」を予定しているとのことでした。  
現在、効率的かつ適正な実施に向けて、「小学校給食費管理システム」の導入を予定しており、これを活用した徴収管理や利用者への案内、督促等の業務を事業者へ委託する契約を締結するなど、準備を進めているとのことでした。また、給食費を本市が徴収する根拠となる条例案についての意見公募を9月に実施するとともに、今後、保護者および学校関係者等への丁寧な説明を行っていく旨の報告がありました。  
委員会では、報告事項について了承されました。

議決された主な議案等

※9月定例会では市長提出議案17件、議員提出議案4件、陳情6件の採決を行いました。下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 一：反対 退：退席

Table with columns for 会派名, 議員名, 議案名, 議決結果, and voting records for various council members across different categories like 補正予算, 決算, 議会議案, and 陳情.

可決した意見書

9月定例会では、次の意見書提出に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない状況に直面している。

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。

鎌倉市議会

世界保健機関(WHO)西太平洋地域委員会への台湾の参加を求めることに関する意見書

本年は、第72回WHO西太平洋地域委員会が、日本がホスト国となり、10月25日から29日の日程で兵庫県姫路市において開催されることが決定している。

鎌倉市議会

沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋立てに使用しないよう求めることに関する意見書

アジア・太平洋戦争末期、沖縄戦においておよそ20万人以上の尊い命が失われた。特に、激戦地となった糸満市摩文仁を中心とする南部地域においては、犠牲となった沖縄県民、全国から召集された兵士の遺骨などが、今なお地中に残されている。

鎌倉市議会

9月定例会では、議員から4件の議案が、市長から17件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
人事院勧告の内容を踏まえ、市議会議員の期末手当の年間支給割合を現行から0.15月引き下げ、4・45月から4・3月としようとするものです。

指定管理者の指定をするため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を得ようとするものです。
鎌倉市放課後子どもひろば条例に定める放課後子どもひろば「だいち」「おなえき」「おおふな」および「うり」「しちりがはま」「ふじづか」「おおふな」および「うり」並びに鎌倉市子ども条例に定めるだいち子ども家「うみがめ」、おなえき子ども家「こぼと」、しちりがはま子ども家「なみち」の請負契約を、松浦建設株式会社と締結しようとするもので、契約金額は2億9084万円です。



補正予算
一般会計補正予算(第7号)
津西二丁目先斜面本復旧事業、準用河川砂押川本復旧事業および既成宅地等防災工事補助金などに係る経費、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費などを追加しようとするもので、歳入歳出ともに4億4900万3千円を増額し、補正後の総額は、622億4904万7千円となります。

編集後記
今年度の議会広報委員会委員8名のうち、新人議員が私を含めて3名です。先輩委員の意見を聞きつつ、市民の皆さまに伝える議会だよりの在り方を随時議論しています。
11月6日(土)・7日(日)に「議会報告会&意見聴取会」をオンラインで開催します。感染症対策で、対面ではない開催を初めて試みます。今まで参加いただけなかった皆さまとつながることができると期待しています。